

2004 年 中堅・中小企業向け ERP 市場の実態調査報告

ノーク・リサーチ (本社〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4-12-5 : 代表伊嶋謙二 03-5629-2163、URL : <http://www.norkresearch.co.jp>) では 2004 年の中堅・中小企業向け ERP の実態調査を実施し、その分析結果を発表した。

< 中堅・中小企業向け ERP 市場の実態調査のポイント >

2003 年度の中堅・中小企業向け ERP 市場規模 542 億円で対前年伸び率 115.9%、2004 年度は 644 億円、2010 年には 1,067 億円市場へ

伸びる中堅・中小企業向け ERP 市場の背景にあるものは、景気回復傾向、リブレース市場の活発化、ベンダ側の ERP 導入支援戦略

大手 ERP ベンダの有利は動かず、下位ベンダによるサバイバル争いは熾烈

新たに中堅・中小 ERP 市場に参入した SAP、オラクル VS 国産 ERP ベンダの攻防

中堅・中小企業向け ERP ベンダシェアでは富士通がトップ、大塚商会、住商情報システムが続く。

対象ベンダ : SAP ジャパン、富士通、大塚商会、住商情報システム、ワークスアプリケーションズ
オービック、オラクル、OBC、日本ピープルソフトなど ERP ベンダ 33 社

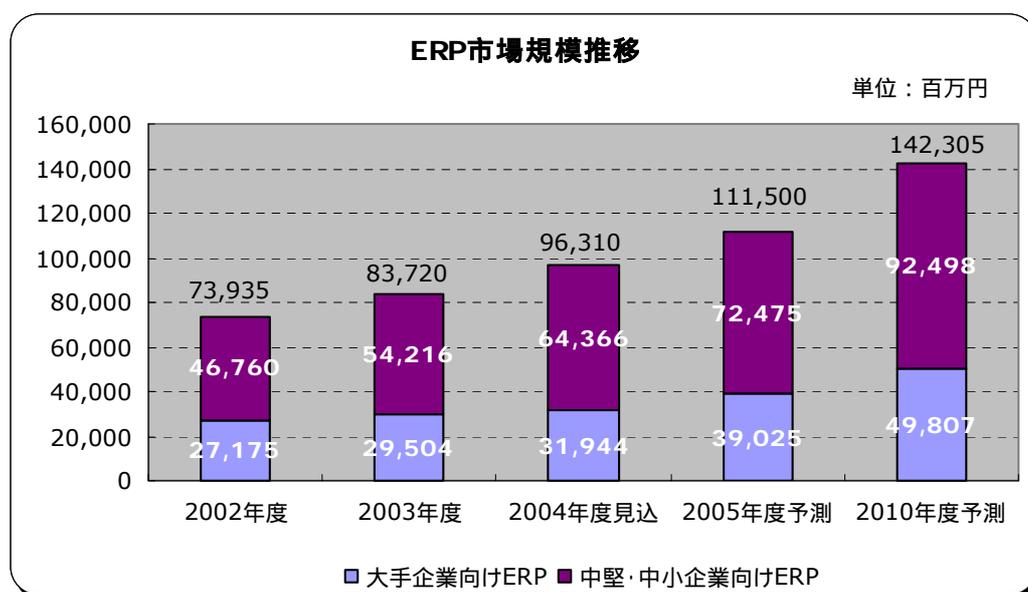
調査方法 : 直接面接調査

調査分析期間 : 2004 年 5 月 ~ 10 月

[全体市場規模推移]

- 2003 年度は 13% の伸びで 837 億円、2004 年度は 963 億円とさらに拡大 -

ERP 市場は年々拡大している。2002 年度は 739 億円、2003 年度は 837 億円、2004 年度には 900 億円を超えて 963 億円に達する見込みだ。2003 年度の対前年比は 113.2% となっており、2004 年度は対前年比 115.0% だ。二桁成長を続ける ERP 市場は好調な成長を遂げている。2005 年度は対前年比 115.8% と見込まれ、2010 年度には 1,423 億円になると見込まれる。特に中堅・中小企業向け ERP 市場の伸びが目立つ。景気回復による投資意欲の増加、リブレース市場の活発化、ベンダ側の ERP 導入支援戦略などがその要因だ。

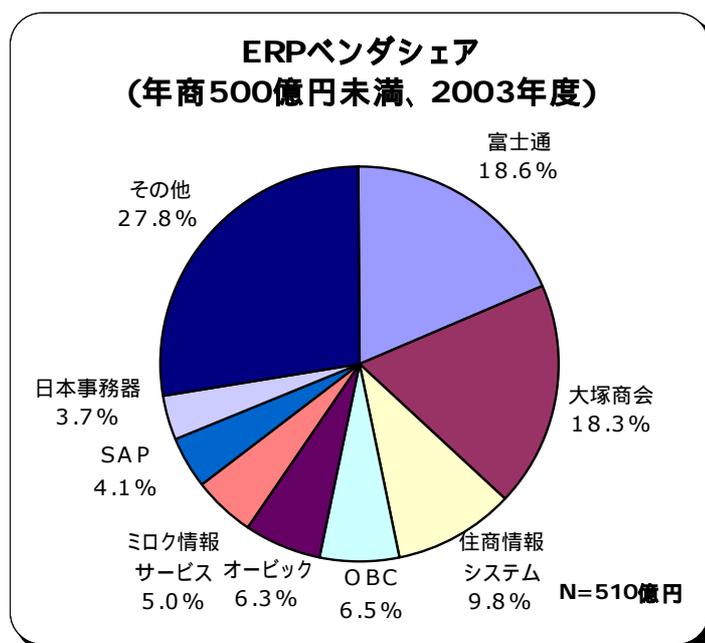
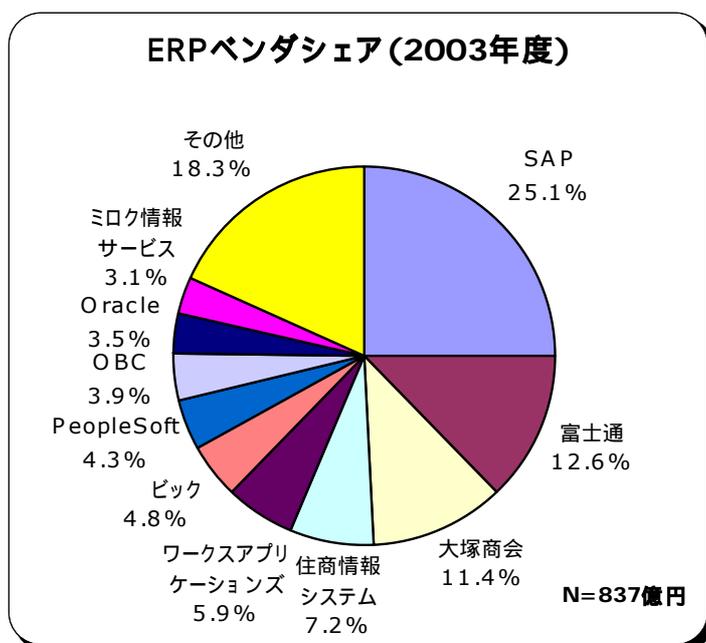


年度	2002年度	2003年度	2004年度見込	2005年度予測	2010年度予測
大手企業向けパッケージ売上高推移	27,175 -	29,504 +8.6%	31,944 +8.3%	33,565 +8.2%	35,576
中堅・中小企業向けパッケージ売上高推移	46,760 -	54,216 +16.0%	64,366 +18.7%	76,935 +19.5%	106,729
総売上高推移	73,935 -	83,720 +13.2%	96,310 +15.0%	111,500 +15.8%	142,305
全体に占める中堅・中小企業向けパッケージ売上高割合	63.2%	64.8%	66.8%	69.0%	75.0%

【ERPベンダシェア推移】

- 2003年度のERPベンダシェアトップはSAP25.1%、続いて富士通12.6% -

2003年度のERPベンダシェアトップはSAPで25.1%。2位以下は富士通、大塚商会、住商情報システムなどの国産ERPベンダだ。富士通は12.6%、大塚商会は11.4%、住商情報システムは7.2%となっている。トップのSAPは大企業向けパッケージとしての世界的な実績と総合的な販売力が大きい。富士通、大塚商会、住商情報システムは3社ともターゲットを中堅・中小企業とした堅実な販売力と実績が特徴だ。



- 2003年度中堅・中小企業向けERPシェアトップは富士通、次いで大塚商会 -

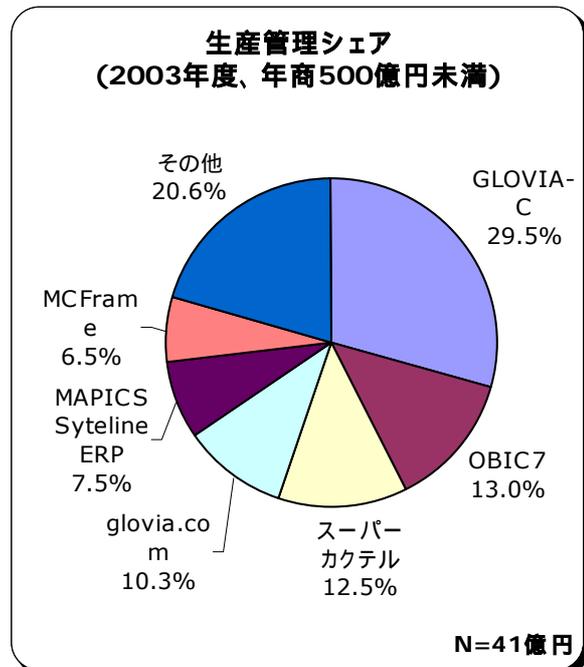
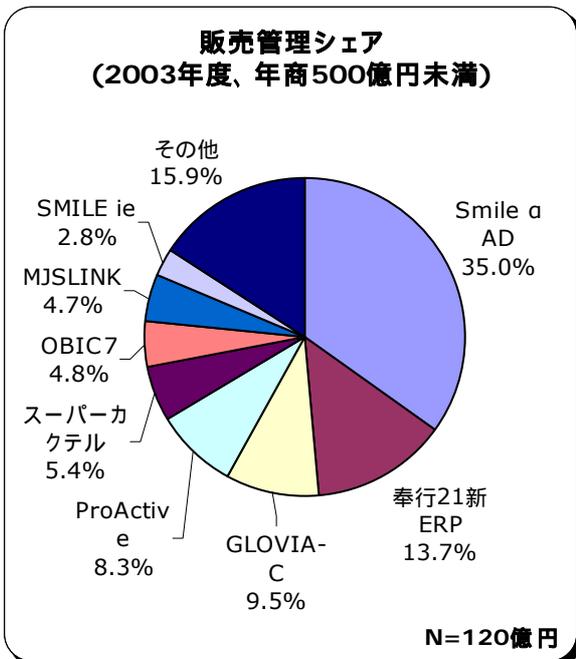
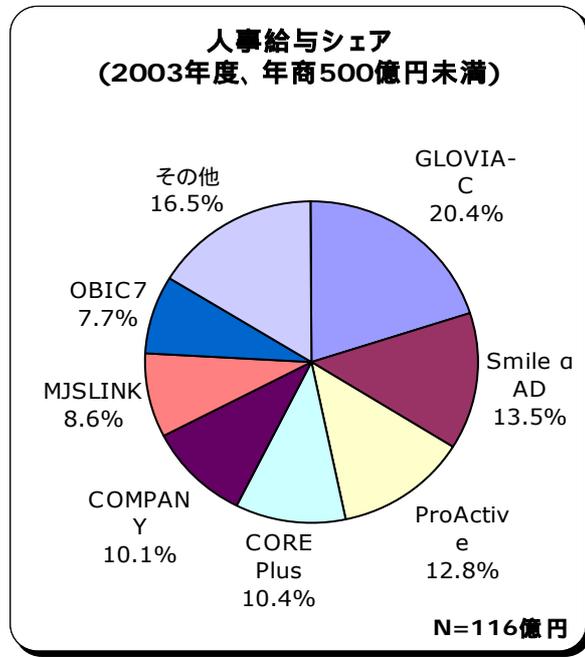
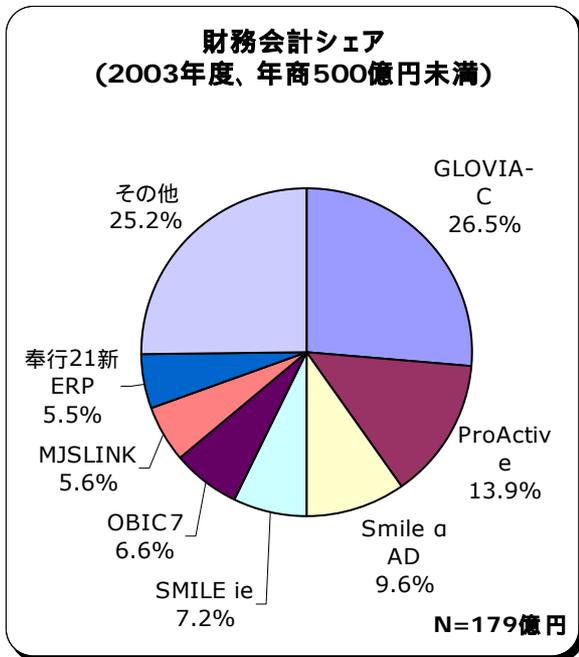
2003年度中堅・中小企業向けERPのシェアトップは富士通が18.6%。次いで0.3ポイント差の僅差で大塚商会が18.3%。以下、住商情報システムが9.8%、OBCが6.5%、オービックが6.3%と続いている。中堅・中小企業向けERPメーカーシェア上位6社は国産ERPベンダで占められている。大手外資系ERPベンダとしては唯一SAPが4.1%と7位に入っている。

今後はSAPのSAP Business Oneや日本オラクルのOracle NEOが中堅・中小企業市場向けに販売が開始されたのを受け、中堅・中小企業市場では国産ERPベンダと大手外資系ERPベンダによる競争の激化が予想される。

[中堅・中小企業向け ERP モジュール別シェア]

- 財務会計、人事給与、生産管理では GLOVIA-C、販売管理では Smile AD がトップ -

4 モジュール中財務会計、人事給与、生産管理の 3 つまで GLOVIA-C がシェアトップ。販売管理では Smile AD が 35.0% で高いシェアとなっている。どのモジュールにおいても上位 3 製品で全体の半分のシェアを占めている。



[ベンダ競合図]

- 中堅企業市場は富士通、住商情報システム、オービックの三つ巴 -

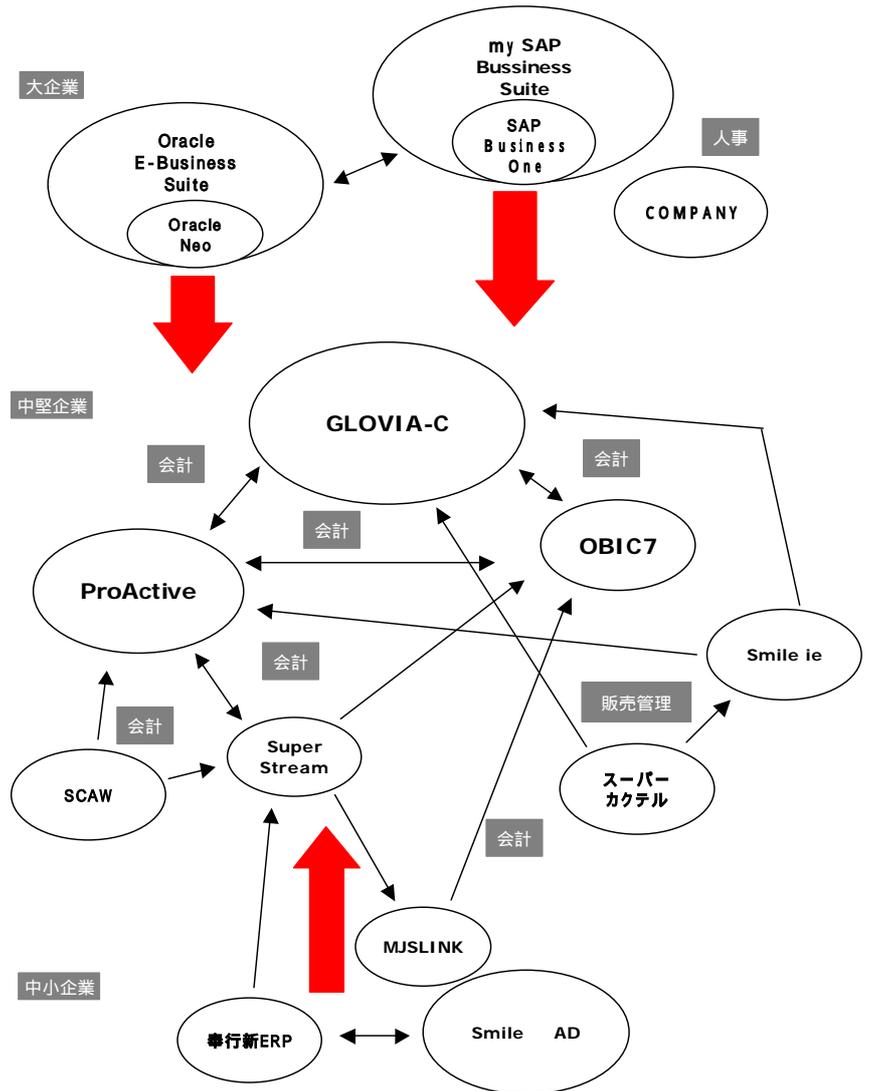
大企業では市場に動きが少なくなっており、現状としては落ち着いている。

中堅企業の競合は激化している。中堅・中小企業向け ERP シェアで、中堅企業をターゲットとしている上位 3 社はやはり競合している。富士通、住商情報システム、オービックの 3 社だ。この 3 社は他社にも競合先として見られているが、オービックなどは富士通、住商情報システムのみを競合先としてみなしている。

2004 年度以降にはこの競合図の中に SAP、日本オラクルの 2 社が入り込んでくると思われる。両社とも中堅・中小企業向けパッケージの販売を開始して間もないが、大企業向けパッケージでの実績を考慮すると中堅・中小企業市場に与える今後の影響は大きい。

中小企業市場においてはオービックビジネスコンサルタントと大塚商会が競合している。オービックビジネスコンサルタントは SSJ も競合先と見ており、今後の展開として中堅市場への進出を考慮していることがわかる。

この図のように今まで「大企業」「中堅企業」「中小企業」の 3 セグメントで「住み分け」が出来ていたのが、全体的に大から中へ、小から中へと、中堅・中小企業への ERP ベンダの戦略のベクトルが集中しつつある。今までにない激戦区となりつつあり、今後、中堅・中小企業市場では「ベンダのサバイバル争い」が繰り広げられるであろう。



当調査データに関するお問い合わせ



ノーク・リサーチ
 担当：伊嶋 謙二 いしま
 e-mail: pressr@norkresearch.co.jp
 〒124-0001 東京都葛飾区小菅 4 - 12 - 5
 電話 5629 - 2163 FAX 5629 - 2164
 URL: <http://www.norkresearch.co.jp>